

スマホ・ネット安全教室

〔 アドバンス編 〕

先生向け補助教材

CONTENTS

- 03 ナレーション教材について
- 04 ナレーション教材の構成と手順
- 05 各ワークの概要
- 06 情報技術の上手な活用とリスクを考える
- 07 リスクを考えるワーク① 【使いすぎ編】
- 08 リスクを考えるワーク② 【出会い編】
- 09 リスクを考えるワーク③ 【メディアリテラシー編】
- 10 リスクを考えるワーク④ 【コミュニケーション編】
- 11 リスクを考えるワーク⑤ 【SNSの発信編】
- 12 参考資料のご案内

本教材の内容



ナレーション教材
(YouTube動画)



先生向け補助教材
(本教材)



ワークシート

アンケート回答のお願い



ナレーション教材と先生向け補助教材をご使用いただいてお気づきになった点をぜひアンケートにご記入ください。

ナレーション教材について

本教材の3つのポイント

スマホ・ネット安全教室の教材のポイントは以下の3点です。

◆ポイント① 「個々のトラブル対策」から「汎用的なリスクマネジメント能力」の育成へ

近年のネットやSNSのトラブルは多様化・複雑化しているため、これまでのように個々のトラブルにすべて対応することは難しいと考えています。そこで、さまざまなトラブルに共通して対応できる考え方としてスマホやネットに関する「リスクマネジメント能力」の育成をめざした内容となっています。

◆ポイント② 「リスクがあるか／ないか」から「リスクを見積もる」授業へ

使いすぎ編、出会い編、メディアリテラシー編のワークでは、リスクマネジメント・プロセスの①リスクの発見（特定）、②リスクの見積もり（分析・評価）、③リスクへの対応（クライシス対応を含む）の中から「リスクの見積もり」を取り入れています。どの程度危険なのかというリスクを見積もるワークを行うことで、自らのリスクを予想する力を育てる内容となっています。また、児童生徒が個々で考えるリスクを他者と共有することで、相互学習につなげています。

① リスクの発見
（特定）

② リスクの見積もり
（分析・評価）

③ リスクへの対応
（クライシス対応を含む）

リスクマネジメント・プロセス

◆ポイント③ 自分だけでなく周りへの影響も含めた「リスクへの対応」へ

コミュニケーション編、SNS発信編では、リスクの見積もりに加えて、さまざまなリスクに対してどのように対応するかを考えるワークを取り入れています。特に、子どもたちが自分だけでなく周りへの影響も踏まえた対応を考えることで、他人や社会とのかかわりを意識した内容となっています。

ナレーション教材の構成と手順

ナレーション教材の構成

ナレーション教材は、情報モラル教育を先生が実施する際にご活用いただける、スライドと音声が入った動画教材です。リスクについて考えるワークは5つのテーマがあり、ニーズに合わせて使用が可能です。テーマごとにチャプターがわかれているため、動画の構成をご確認いただき、使用したい内容をご検討ください。

チャプター	タイトル	時間
1	はじめに	0:00～
2	情報技術の上手な活用とリスクを考える	3:03～
3	リスクを考えるワーク① 【使いすぎ編】	9:28～
4	リスクを考えるワーク② 【出会い編】	20:49～
5	リスクを考えるワーク③ 【メディアリテラシー編】	32:59～
6	リスクを考えるワーク④ 【コミュニケーション編】	43:16～
7	リスクを考えるワーク⑤ 【SNSの発信編】	54:41～
8	まとめ	1:06:31～

ナレーション教材を使用した教室実施の手順

準備

- ① チャプター「1.はじめに」、「2.情報技術の上手な活用とリスクを考える」、「8.まとめ」は基本的な内容として取り入れてください。
- ② ワーク①～⑤のうち、取り扱いたい内容を教室の実施時間に合わせて選択してください。
- ③ 選択した内容に合ったワークシートを準備してください。

教室実施

- ④ ナレーション教材を、選択した内容のチャプターまでスキップして再生し、進行してください。
- ⑤ ワークシート記入の際は、ナレーション教材でタイマーを表示します。記入が終わって話し合いをさせる場合は、ナレーション教材を一時停止して、まわりの人と話し合いをさせます。話し合いが進んでいないグループには話し合いのポイントを伝えるなど、フォローをして進行してください。

実施イメージ

【時間】 45分 【ワークの内容】 ①使いすぎ編と④コミュニケーション編

実施内容	ナレーション教材
はじめに	チャプター1 (0:00～)
情報技術の上手な活用とリスクを考える	チャプター2 (3:03～)
リスクを考えるワーク1つめ	チャプター3 (9:28～) 使いすぎ編
リスクを考えるワーク2つめ	チャプター6 (43:16～) コミュニケーション編
まとめ	チャプター8 (1:06:31～)
生徒の感想発表	

各ワークの概要

ワークの種類一覧

- ・使いすぎ編
- ・出会い編
- ・メディアリテラシー編
- ・コミュニケーション編
- ・SNSの発信編

各ワークの内容

①導入ワーク

導入では、ネットやSNSを使っていない人でも、各テーマのトラブルを身近に感じてもらうためのワークを行います。個人でワークシートに記入させてください。（30秒）なお、次のメインワークの類似内容となっています。

②リスクの見積もりワーク

使いすぎ編、出会い編、メディアリテラシー編では、それぞれの場面の、リスクを小中大に分類することで、リスクの見積もりを考えます。個人でワークシートに記入させたあと（1分）、2-3人のグループを作って話し合い（2分）を行わせてください。ここでの留意点は、1枠につき必ず数字を1つは入れ、空欄を作らないことです。そうすることで、リスクの見積もりが小中大に分類でき、そのように判断した理由を共有しやすくなります。

③リスク対応のワーク

コミュニケーション編、SNS発信編では、4つの場面の対応方法を「何もしない」「相談する」「働きかける」の中から考えます。その際に、自分だけでなく、周りの影響も含め、リスク対応方法を考えます。個人でワークシートに記入させたあと（1分）、2-3人のグループを作って話し合い（2分）を行わせてください。ここでの留意点は、1枠につき1場面を必ず入れることです。そうすることで、リスク対応を判断した理由を共有しやすくなります。

※ナレーション教材では、ワークシート記入の1分をタイマーで設定しています。

話し合いをさせる場合は動画を一時停止して実施してください。

リスクへの対応の際は、普段自分がよく選ぶ対応だけでなく、状況に合わせて対応を変えることを理解させます。

授業の設定

〔実施対象〕 中学2年生～高校3年生 〔実施時間〕 50分

準備するもの

- ・ナレーション教材を再生可能なインターネット環境
- ・パソコン、プロジェクタ、スクリーン
- ・ワークシート 1人4ページ（【冒頭・まとめ】、ワークの1つめ、ワークの2つめ）
- ・先生向け補助教材

↓ 教材のダウンロードはこちらから ↓

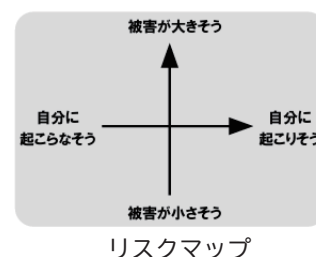
https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/social/sustaina_school/educational/



■ ねらい

- ① AIやロボットなどの発達で、自分たちの暮らしがどのように変化するかを考える。また、それが社会を豊かにするだけでなく、新たなトラブルが発生しうること理解する。
- ② リスクマネジメントの基本的な考え方についてリスクマップ(※)ワークを通して学習する。さまざまなトラブルに対して、自身が考えるリスクを深刻度と頻度でマップ上に可視化し、その理由を他者と共有することで、優先的に取り組むべきリスクの自覚を促す。

※リスクマップとはリスクを大小に比較・理解できるように視覚化するマップのことです（右図）



■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
5分05秒～ リスクを考える リスク（危険性）＝ 起こりやすさ × 被害の大きさ	①リスクマネジメントの基本的な考え方 リスクの定義やリスクの考え方を事前に子どもたちに伝えます。ただし、知識を伝えるだけでは理解しづらいため、直後にリスクマップを使ったワークにより体験的に理解を促します。
7分33秒～ （ワークの実施） 自分のリスクを考えてみよう	②リスクの考え方を理解するためのワーク（ワークシート記入：1分 話し合い2分） よく取り上げられる5つのトラブルについて、頻度（起こりやすさ）と深刻度（被害の大きさ）でマップ上に可視化して、優先度を明確にしてもらいます。まず、個人で記入し、その後にグループで共有してください。グループワークの際には、リスクマップを比較するとともに、それぞれの並び方の理由を共有するようにしてください。 〔ワンポイントアドバイス！〕 リスクを頻度と深刻度でマップ上に可視化する際に、自分にとってのリスクを考えさせるようにしてください。まずは、リスクの概念を体験的に理解させることをねらいとしています。その後に、グループで共有することで、他者との違いからリスクの捉え方を深める機会にもなります。

■ ねらい

- ① ネットの使いすぎにおける「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、グループワークを通して自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、使いすぎにおけるリスクの理解を深める。
- ② 上記を踏まえ、スキルワークを通してリスクと上手につき合うための上手な活用スキルを身につける。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
10分50秒～ (ワークの実施) 自分がネットやSNSをよく使っている場面を選んでみよう 1 好きな人のSNSが更新されたとき 2 塾生のやる気が出ないとき 3 誰からも注意されたいとき 4 ともだちに誘われたとき 5 長時間遊びまわるとき	①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分) 導入では、アイスブレイクとして日常のネット利用で「よく使う場面」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。
13分17秒～ (ワークの実施) リスクを考える —リスクの見積もり—  リスクを考える —リスクの見積もり— 	②リスクの見積もりワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分) 本ワークは、使いすぎてしまう5つの場面を見て、リスクを小中大に分類することで、リスクの見積もりを考えます。何度も使うかどうかを「起こりやすさ」、長時間使うかどうかを「被害の大きさ」として、考える練習をします。個人の要因だけでなく、家族や友達の影響も考慮する必要があります。 〔ワンポイントアドバイス！〕 リスク小中大の分類に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、子どもたちが自身のリスクの見積もりを考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。ただし、正解はありませんが、リスクを見積もる際の判断するポイントはワーク後にお伝えします。
17分40秒～ リスクを考える 大学生100人に聞いた ネットやSNSと上手につきあうための9つの工夫の中でやってみたいことに☑してみよう	③スキルワーク 本ワークは、使いすぎてしまう場面にあった際に備え、実際にどのように対応するかを具体的に考えます。今回はネットやSNSを上手にやめるための9つのスキルをお伝えします。

■ ねらい

- ① ネットの出会いによる「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、出会いにおけるリスクの理解を深める。
- ② 身近な場面から出会いのトラブルを自分事として考えるとともに、そのリスクを回避するために、注意すべきポイントを理解する。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
22分04秒～ (ワークの実施) ダンスが好きの人とつながりたいと思ったとき、どんな人と、どの程度つながりたいか 1 動画をフォローしたい 2 SNSでフォローし合いたい 3 オンラインで会話ししたい 4 リアルで会いたい	①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分) 導入では、アイスブレイクとして自分がネット上で「つながりたい人」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。そのときに、ダンス好きだと仮定して考えるように先生からもお声かけをお願いします。
24分35秒～ (ワークの実施) リスクを考える —リスクの見積もり— どの人ならフォローを返したり連絡したとしてもよいと思う？  リスクを考える —リスクの見積もり— 	②リスクの見積もりワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分) 本ワークは、4つのSNSのプロフィール内容から、「どの人ならフォローを返したり、連絡してもよいか」を考え、そのリスクを小中大に分類してもらいます。それぞれのプロフィールには「あやしさ」を点状させています。 〔ワンポイントアドバイス！〕 リスク小中大の分類に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、子どもたちが自身のリスクの見積もりを考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。また自分自身が、どのようなポイントを基準に「信頼できる」と判断するのかを、意識させることも重要です。
26分11秒～ (ポイントの解説) ポイント ●ポイント1 トップページの情報に注意する ●ポイント2 プロフィールの文章に注意する ●ポイント3 SNSの利用状況(度合い)を確認する どのくらいのリスクがあるかを見積もった上で連絡するかを判断しよう	③リスクを見積もるときのポイント 最後に、ナレーション教材ではそれぞれの場面に点状させた「あやしさ」を踏まえて、リスクを見積もる際に判断するポイント（トップページ情報・プロフィール文章・SNSの利用状況）をお伝えします。 また、ネットで会うことは禁止ではありませんが、身に危険が生じる可能性があります。そのため、子どもたちが出会いのトラブルを自分事として考えるとともに、そのリスクを回避するためのポイントを日常から意識するよう先生からもお声かけをお願いします。

■ ねらい

- ① ネット情報のあやしさにおける「リスクの見積もり」の重要性を理解する。また、自分と他者のリスクの見積もりの「違い」から、ネット情報を見る際のリスクの理解を深める。
- ② ネット情報のあやしさのリスクを回避するために、注意すべきポイントを理解する。

＊メディアリテラシーとは、メディアの意味や特性を理解したうえで、受け手として情報を読み解き、送り手として情報を表現・発信するとともに、メディアのあり方を考え、行動していくことができる能力。

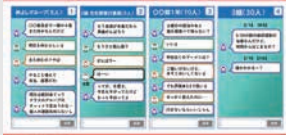
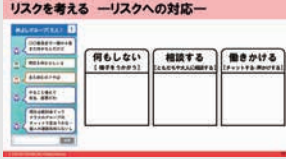
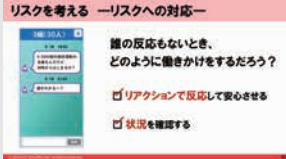
■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
3 4 分 2 3 秒～ (ワークの実施) 学習アプリを探すとき、 どのような「広告」でアプリを選ぶ？ ① 「人気No.1」と書いてある ② 「大学の先生が関わっている」と書いてある ③ 「よかった」と口コミに書いてある ④ 「学力が上がった」と書いてある	①導入ワーク （ワークシート記入：30秒 話し合い：2分） 導入では、アイスブレイクとして自分がネット上で「つながりたい人」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。
3 6 分 2 7 秒～ (ワークの実施) リスクを考える —リスクの見積もり— 英単語アプリの広告を、どのくらい「あやしい」と思う？ ① ② ③ ④ リスクを考える —リスクの見積もり— ① 例 リスク小 リスク中 リスク大 ④ ② ③ ①	②リスクの見積もりワーク （ワークシート記入：1分 話し合い：2分） 本ワークは、4つの学習アプリの広告内容から、「その内容がどのくらいあやしいか」というリスクを小中大に分類してもらいます。 〔ワンポイントアドバイス！〕 リスク小中大の分類について、①～④の中では比較的に④のリスクが少ないと考えられます。ただし、本ワークは正解を考えることだけでなく、各児童がその広告のリスクを見積もり、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。
3 8 分 0 6 秒～ (ポイントの解説) ポイント ● ポイント1 誰が関わっているかを確認する ● ポイント2 いつ調査されたかを確認する ● ポイント3 結果だけでなく調査人数を確認する ネットやSNSの「情報のあやしさ」を見極めて、上手に情報活用しよう	③リスクを見積もるときのポイントの解説 最後に、それぞれの場面に関するリスクを見積もる際に判断するポイント（だれ・いつ・調査人数）をお伝えします。本ワークでのメディアリテラシーは広告を例にしていますが、情報を収集する際には、ネットやSNSの「情報のあやしさ」を見極めて、上手に情報を活用するよう先生からもお声かけをお願いします。

■ ねらい

- ① コミュニケーショントラブルにおける「リスクへの対応」の重要性を理解する。また、グループワークを通して自分と他者とのリスク対応の「違い」から、コミュニケーショントラブルの対応方法の理解を深める。
- ② 上記を踏まえ、リスク対応を具体的に考えるスキルワークを通して、自分の考えや気持ちを上手に伝える方法を身につける。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
4 4 分 2 7 秒～ (ワークの実施) 身近で見た「ヒヤリ」とした体験はどれだろうか？ 1 個人チャットでの悪口 2 グループチャットでの強めの注意 3 グループチャットでの言い合い 4 グループチャットでの脱線スルー	①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分) 導入では、アイスブレイクとして日常のチャットで「ヒヤリ」とした体験を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。
4 6 分 5 9 秒～ (ワークの実施) リスクを考える ―リスクへの対応―  リスクを考える ―リスクへの対応― 	②リスク対応のワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分) 本ワークは、4つのテキストコミュニケーションの場面がどのくらいリスクがあり、どのように対応（何もしない、相談する、働きかける）するかを考えてもらいます。 〔ワンポイントアドバイス！〕 リスク対応に「正解」はありません。本ワークは正解を考えるのではなく、子どもたちがリスク対応を考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。 ただし、正解はありませんが、リスク対応を判断するときのポイントはワーク後にお伝えします。
5 1 分 2 6 秒～ (ワークの実施) リスクを考える ―リスクへの対応― 	③スキルワーク 本ワークは、コミュニケーショントラブル場面にあった際に備え、実際にどのように対応するかを具体的に考えます。今回はそれぞれのチャット場面で2つの具体的なスキルをお伝えします。ワークシートに空白を作っており、スライドの内容を記入させてください。

■ ねらい

- ① SNSの発信における「リスクへの対応」の重要性を理解する。また、グループワークを通して自分と他者とのリスク対応の「違い」から、SNSの発信の対応方法の理解を深める。
- ② SNSの発信のリスク対応するときの判断するポイントを理解する。

■ 指導のポイント

ナレーション教材	指導のポイント
5分59秒～ (ワークの実施) 周りの人がSNSで発信するなら どの内容を一番発信しようか考えてみよう 1 面白い系の動画・写真 2 祭りなどのイベントの動画・写真 3 カップル動画・写真 4 節夜の動画・写真	①導入ワーク (ワークシート記入：30秒 話し合い：2分) 導入では、アイスブレイクとして、自分ではなく周りの人がSNSで「発信しそうな内容」を考えるワークを行い、身近なテーマとして感じてもらいます。
5分48秒～ (ワークの実施) リスクを考える —リスクへの対応—  リスクを考える —リスクへの対応— 	②リスク対応のワーク (ワークシート記入：1分 話し合い：2分) 本ワークは、4つのSNSの内容について「自分が写っている動画」を周りの人が発信した時、どのくらいリスクがあり、どのように対応するか（何もしない、相談する、働きかける）を考えてもらいます。そのときに、すべての動画に自分が写っていると仮定して考えるよう先生からもお声かけをお願いします。 〔ワンポイントアドバイス！〕 リスク対応に「正解」はありません。本ワークは正解を考えることではなく、子どもたちがリスク対応を考え、他者との違いからリスクの捉え方を深め、「考え続けること」の重要性を理解してもらうことをねらいとしています。 ただし、正解はありませんが、リスク対応を判断するときのポイントはワーク後にお伝えします。
1時間2分29秒～ (ポイントの解説) ポイント ● ポイント1 写っている人の許可をとったか ● ポイント2 個人情報があるか ● ポイント3 悪ふざけの写真・動画は慎重に 自分だけでなく、周りの人のリスクにどのように対応するかを考えてみよう	③リスク対応のポイントの解説 最後に、それぞれの場面に関するリスク対応のポイントをお伝えします。特に、SNSの発信では、SNSの3つの特徴（記録性・特定性・拡散性）が影響していることを理解してもらいます。

参考資料のご案内

授業ではカバーできない、家庭でスマホルールを作るときにお使いいただけるツールとして、「スマホ・ネット安全教室 for family」をご用意しています。
ぜひ、保護者のみなさまにご紹介ください。

docomo 親子で一緒に考えよう！スマホの使い方

「子どものスマホ・ネット利用」を安全に、楽しく行うためのルールを決めよう。保護者のみなさまと子どもと一緒に考えて、家族みんなが納得できるルールを決めよう。

※保護者のみなさまと子どもと一緒に考えて、家族みんなが納得できるルールを決めよう。

1. 子どものスマホ・ネット利用のルールを決めよう

保護者の考え 子どもの考え

平日 時間 休日 時間 平日 時間 休日 時間

2. スマホを渡すタイミングを決めよう

3. スマホの持ち方・保管方法を決めよう

4. スマホの充電方法を決めよう

5. スマホの修理・故障時の対応を決めよう

6. スマホの買い替え・廃棄時の対応を決めよう

7. スマホのセキュリティ対策を決めよう

8. スマホの個人情報保護を決めよう

9. スマホのSNS・SNSアプリの使い方を決めよう

10. スマホのメール・メールアプリの使い方を決めよう

11. スマホのゲーム・アプリの使い方を決めよう

12. スマホの動画・動画アプリの使い方を決めよう

13. スマホの音楽・音楽アプリの使い方を決めよう

14. スマホのカメラ・カメラアプリの使い方を決めよう

15. スマホのGPS・GPSアプリの使い方を決めよう

16. スマホのBluetooth・Bluetoothアプリの使い方を決めよう

17. スマホのWi-Fi・Wi-Fiアプリの使い方を決めよう

18. スマホのモバイル通信・モバイル通信アプリの使い方を決めよう

19. スマホの緊急通報・緊急通報アプリの使い方を決めよう

20. スマホのその他・その他アプリの使い方を決めよう

docomo わが家のスマホルール

ルールを決めた日

話し合って決めたルールを記入しましょう

1. スマホやインターネットを使う時間

2. スマホを使う場所

3. スマホゲームなどの利用について

4. スマホを使うときのマナーについて

5. その他のルール

6. その他のルール

7. ルールを守らなかったときはどうする？

8. ルールを守らなかったときはどうする？

9. ルールを守らなかったときはどうする？

10. ルールを守らなかったときはどうする？

11. ルールを守らなかったときはどうする？

12. ルールを守らなかったときはどうする？

13. ルールを守らなかったときはどうする？

14. ルールを守らなかったときはどうする？

15. ルールを守らなかったときはどうする？

16. ルールを守らなかったときはどうする？

17. ルールを守らなかったときはどうする？

18. ルールを守らなかったときはどうする？

19. ルールを守らなかったときはどうする？

20. ルールを守らなかったときはどうする？



NTTドコモ スマホ・ネット安全教室 for familyはこちらからどうぞ